

弱者への救済

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

一切の現実には、その自己が、必要性を有することにおいて、判断が必要である。これは、豊かさのみでなく、人間性における要求も存在し、他の働きを要求する。これらは、自己能力の未熟さは、学習や援助を必要とする。これは、全ての人々の参加という世界の責任において判断を、競争原理における世界は、必ず優秀な存在が、それを占有するのである。これは、政治の合意基盤として、提案するものである。これらは、未来を求めることに対して、中央行政と地方行政が、これらの理解基盤を共有することを提案したい。これらは、弱者の切り捨てでない、共生という新しい世界の創造である。全ての存在が、参加する世界は、必ず理想なのである。世界が、何人の犠牲に立脚しないことは、為政者の判断を求めるものである。未来は、必ず希望である。為政者は、それを自己とするのである。為政は、必ず人にあり、自己にあらず。